

令和3年度 平館高校 第2回学校運営協議会 議事録

2021. 9. 30 平館高校

- 1 日時 令和3年9月29日(水) 10:00~12:00
- 2 場所 平館高校
- 3 参加者 平館高校学校運営協議会委員8名
欠席 里見、田中、佐藤、鈴木、吉田 各氏
学校責任者1名(校長)

4 内容

(1) 校長あいさつ

- ・令和3年度進路状況 卒業予定者40名→進学16名、就職24名
- ・コロナウィルス感染防止対策に万全を期している。
- ・堅苦しくなくフランクに、何なりと発言してください。

(2) 令和3年度岩手県立平館高等学校経営計画の承認

【承認される】

(3) 平館高等学校学校運営協議会委員長・副委員長の互選

【決定する】 会長 田中耕一 副会長 齋藤学

(4) 平館高校について 10:20~10:50

【副校長より説明】※平館高校配架Chromebook(県費)を全員で使用してみる。

ア 令和の日本型教育について

- ・「社会に開かれた教育課程」
- ・地域との連携、ゲストティーチャー(地域の外部講師)との協力
- ・探究活動の充実→『総合的な探究の時間』の発展
- ・学校設定科目 就職コース:社会人教養、現代社会探究(令和6年度)
- ・島根県立隠岐島前高等学校ホームページを閲覧。

イ 平館高校説明スライドを視聴(中学校説明会で使用したversion)

ウ 市内4中学校訪問(8/3、8/4)説明資料

- ・志願者の確保60名の根拠(八幡平市人口動態と平高進路状況から)
- ・平館高校スクールミッション〈育てたい7つの生徒の未来像〉

エ 中学校説明会から

- ・西根中学校・松尾中学校へそれぞれの卒業生が出向き説明した。
- ・松尾中学校長作成学校通信『はらから』より
説明会後の生徒の感想と評価。いかに平館高校が知られていないかがわかった。継続した丁寧な説明が必要。

オ 「八幡平市長とのフリートーク」提出資料(平高PTA会長より)

- ・制服代補助ほか、学校支援の要請。冬季間の生徒利用バスの確保。
- ・市は予算を作成する時期に入る。
- ・10月に、新市長とのフリートークがある。新市長の公約の中には、「平館高校への支援」があった。

- カ 平館高校新ホームページ案の紹介 開始は10月中旬。
- キ その他
 - ・高等学校における通級制度について
 - ・まちの人事部Aqsh主宰「起業塾」について
 - ・・・塚田代表が平高2年生へ直接説明する時間を設定した。

以下、今回は熟議し決定する案件が無いので、自由に発言することとし、情報や意見交換を行った。

(5) 平館高校の魅力化促進、志願者増に関すること

【工藤久志 委員】

ハロウスクールやインターコンチネンタルホテルとの交流に向けて、市としてもバイリンガル対応が求められているが、人材の確保は容易ではない。英語ができる人は多くはない。平高の魅力については、市議会でも取り上げられている話題だ。全国展開する「地域みらい塾」への参加については費用のこともあり現実的ではない。市外や県外から入学生を確保するためには、寮の整備が必要か。島根県立隠岐島前高等学校や葛巻高等学校の県外生受入成功例は承知している。平高については、地元を向けずは地元の中学からの入学者を確保し、その上で、プラス県外生受入の「二刀流」がいいのではないか。盛岡の高校に通っても先が見通せるとは限らない。平高に入れば、地元就職などかえって先をきちんと見すえたビジョンを持てる。平高なら学習支援員がおり、学力が心配な生徒へも丁寧に対応している。

【北島亨 校長】

学力差が大きい学校に勤務し、担任をしたことがある。どの生徒にも学びの機会と学力向上を保障したい。平高は、様々な生徒を受入れ、きめ細かな指導を実現している。それはやらなければならないことであり平高の使命だ。小規模校だからできることがある。評価方法を工夫したり、コミュニケーションのスキルを伝えたりしつつ、全ての生徒に優しく、笑顔の多い学校にしたい。

【遠藤収一 委員】

八幡平市商工会青年部が中心となって地元の企業を紹介している。ぜひ地元の企業に就職してほしい。小中学生の頃から地元の企業に関心をもってもらう事業を今後も継続していきたい。地元向けの企業紹介用小冊子を作成する予定だ。平高の魅力化について、松尾中学校での説明会のような機会はとても大切であり、継続してほしい。平高生には3年間、何かに興味を持って取り組んでほしい。「平高生が自分の卒業した中学校に行って説明する発表の場」を設けてはどうか。

【寺澤幸昌 委員】

平高は実に様々な取組をされており敬意を表する。探究活動に力を入れていることも特筆すべき点だ。

〈中学生の目線で不安を感じる部分への助言〉高校では、生徒一人ひとりが、「〇〇をやりたい！」と希望を抱いている。中には、スマホやゲームの時間を確保したい生徒もいる。そのような生徒にとっては、平高に入ると、あれもこれもやらなければならないのか、と不安になってしまうようだ。中学生は全部やろうとする傾向がある。そこで、日ごとあるいは1年間どのように時間を使えるのか、を示してはどうか。スケジュールを見える化して提示してはどうか。中学生の「平高はいっぱいいっぱいだ」といった心配を払しょくできるのではないか。見通しが持てるようになると思う。

【齋藤学 委員】

平館青商会への協力に感謝している。ひょうたん池の看板修復と東屋リフォーム（テーブルペイント）終了。3年計画で進めている。1年目は地域の人たちに足を運んでもらう、2年目はくつろいでもらう・・・、というように。3年目をしっかりと進めたい。平高生に平館コミセンのイルミネーションデザインを依頼したが、今年も美術部員の作品のみとなった。12月10日が点灯式で、現在懸命にデザイン画を仕上げている状況。部活動の振興について、部活動は人間を成長させる。特にスポーツに力を入れてほしい。サッカー部員が2名と聞いて（OBとしても）驚いた。八幡平には、バスケットボール、サッカー、野球、卓球、テニスのスポーツ少年団がある。小・中では人数の多いスポーツも盛んだ。中学生は志願先を決める際に、部活動をみる。充実させることが重要。他校には無い部をつくることもいいのではないか。例えば、ドローン部、eスポーツ部など。突拍子もない部もおもしろいのではないか。

【瀬川恵子 委員】

息子は、サッカー部の強い高校に入って優勝したいと盛岡の高校に進学した。中学校のときに創部した部だったが現在は苦しい状況にある。小中学校に平高を紹介するコーナーを作ってはどうか。中学生はほとんど新聞記事を読まない。市への要望について、制服代補助や冬期間夕方の路線バス確保をお願いするのはたいへんよいこと。特に冬道を一人で歩くのは危険。保護者にも伝えるとなおよい。

⇒市内4中学校には平高情報コーナー設置依頼済。（市教委、平高から依頼）

【寺澤幸昌 委員】西根中でも確実にコーナーを確保して、情報を掲示しています。

【神田勝恵 委員】

昨日 9/28 の 3 学年 P T A では、保護者として先生方の生の声が聞けてよかった（3 人の担任が、現在のクラスの状況、モットー、自分自身の高校時代の思い出、高校時代に身につけてほしいこと等を語った）。平高について知らない人が多いから、先生や平高生が中学生に説明したのはとてもよかった。平高へ入りたい人が増えるのではないかな。松尾中の生徒の感想が素晴らしい。

(6) 外部講師等地域人材に関する情報

【遠藤収一 委員】

八幡平市商工会青年部であれば、地域の人材を把握している。配付された「平高外部講師一覧表」に多くの人材がすでに掲載されている。私自身が、数年間、松尾中学校のゲスト講師をつとめていた。『ハチクラ』の編集を通して知ったことも含めてさまざまなことを伝えた。統計を活用し、岩手県の日本一を発見したり特産品の売込みについて考察した。

(7) 自由に発言（紫薫祭ほか）

【神田勝恵 委員】

昨年度は、体温チェックの関係から受付が混んでしまった。是非、動線対策をしてほしい。

【瀬川恵子 委員】

平高は新聞に掲載されることが多い。今後がんばってください。

【齋藤学 委員】

（コロナウィルスが収まったら）前夜祭でカラオケ大会もいいのではないかな。点数表示機器もレンタルできるようだ。意外な人がうまかったりして盛り上がる。個性が表現できていいのではないかな。人のつながりもできる。自分が平高生の時はバンドをやった。

【寺澤幸昌 委員】

中学 3 年は、10/16、10/17 にコロナワクチン接種がある。西根中美術部の部員は約 50 名。紫薫祭に西根中美術部が見学に行くことができれば、高校生の作品を見て学ぶ機会になったのだが、中 3 のみが見学可能ということで 1・2 年生の部員が見学できないことが残念である。

→情報提供「平高生の作品は田頭コミセンで展示するので、そちらで見学できる。

【遠藤収一 委員】

西根ライオンズクラブ主催の平和ポスターコンクールがある。今年から、平高美術部担当教員に審査員になってもらった。

【工藤久志 委員】

西根中美術部員の多さもさることながら、中学校では文化部員が多くなっている。小中連携で通学路点検を行った際、高校生の自転車マナーが話題になった。危険な走行や横断が見受けられる。平高でも注意してください。